



日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.3.10 No.4560

全力で3・19ストへ!

97春闘ストの課題①

1. 97春闘勝利・貨物格差粉碎!
2. 3・22ダイ改合理化粉碎・運転保安確立!
* 佐倉機関区廃止・検修外注化阻止
— 貨物基地統廃合攻撃粉碎!
* 幕張電車区における構内・仕業融合化阻止!
* 昨年12月ダイ改以降の懸案要求の実現!
3. 強制配転者の原職復帰・一切の不当労働行為根絶!
4. JR総連解体—組織強化・拡大!

九七春闘勝利! 世界の仲間と共に!

われわれは、四つの課題を掲げ、三・一九春闘ストライキに立ちあがります。全支部で万全のスト体制をつくりあげよう!

世界中で、幾百万の労働者の怒りが燃えあがり、変革のエネルギーとなつて噴きだしている。韓国民主労総や韓国労総は、首切りが自由にできる労働法制の改悪に対し、八〇万人が参加するゼネストに立ちあがった。アメリカでは全米自動車労組や電気機械労組がストに立ちあがり

北米二九工場のうち二六工場を閉鎖追い込んで一万七千の職場復帰をかちとった。フランスでは昨年一年間で、述べ六百万日という戦後最大のストライキが闘われ、百万人のデモが街頭にあふれている。ロシアでも一月、一千万人の炭坑労働者がストに突入している。ドイツでも、スペインでも、イタリアでもゼネストと戦後最大のデモが街にあふれた。

首切りや賃下げ、労働法制の改悪や社会保障の切り捨て、行革・規制緩和攻撃を巡って、「もう我慢できない」という怒りが、労使協調的な労働運動の枠

【スト拠点/対象者】

- (1) 幕張電車区的全組合員。
- (2) 新小岩・佐倉機関区の地上勤務者。
- (3) スト当日は、全組合員を対象に、時間外・休日労働、所定以外の業務は一切行なわない。

★ 勤務以外の全組合員は、13時千葉市民会館集合

貨物「ベアゼロ」攻撃を許すな!

を打ち砕き、新しい潮流となつて激しく流れだしている。世界の仲間たちが立ちあがっているときに日本の労働者だけが魂を抜かれたような状態で膝を屈しているわけにはいかない。怒りは満ち始めている。連合など誰も見向きもしなくなっている。怒りのやり場を求めている。怒りに火をつけよう。われわれも新しい闘いを創りあげよう。九七春闘をストライキで闘おう。

貨物会社は、「ベアゼロ」を吹聴している。「三月決算では百億以上の赤字になる」「政府にJR貨物が抱える構造問題の解決を要請するためには自助努力が必要だ」というのだ。冗談じゃない! 政府と当局、JR総連・革マルが結託して強行した分割・民営化のツケを労働者に転嫁しようというだけのことだ。二〇万人の首を切り、二百人を自殺に追込み、賃金格差を強制し続け、自らの展望も語れないような大合理化計画のなかに貨物の労働者を叩き込み、そして今度は「ベアゼロだ」と言うのだ。怒りをとき放って闘おう。

貨物基地統廃合攻撃を許すな!

われわれは、佐倉機関区の廃止を焦点とした貨物基地統廃合

三・二一千葉春闘集会
とき 三月二一日(金)
一八時から
ところ 船橋市・商工会議所
六階ホール

攻撃を断じて許さない。「新フレイト21」は「貨物六千人体制」合理化攻撃を断じて許さない。貨物をめぐる闘いはむしろここから始まる。「新フレイト21」攻撃は、貨物の労働者に首切りと労働強化、低賃金を強制し、安全を切り捨てる重大な攻撃だ。しかもその結果、構造的な矛盾はさらに雪だるまのように拡大することは明らかだ。

日貨労・城石は、「フレイト21」も「新フレイト21」も、たび重なる賃金の格差も、そっくり全てを認めて現場の労働者を当局にさしだした。そもそも城石の頭のなかにあるのは、貨物のことではなく、「JR東日本の革マル結託体制をどう維持するのか」ということだけなのだ。新春フォーラムにJR東日本の社長を講師として呼んだら、「JR貨物と東日本の間には全く問題はない」と最大限持ちあげたり、貨物の労働者を犠牲にしても東日本の革マル結託体制を守るために全力を尽くすことだけが、日貨労委員長の「使命」になっている。

「新フレイト21」・基地統廃合攻撃粉碎に向けて、ストライキに立ちあがろう。日貨労を解体しよう。